

特長

イージースラブ橋とは…

■簡単な加工(孔あけ)を施したH形鋼を並べて架設し、下フランジ間に桁下面型枠を設置し、腹板(Web)に設けた孔に横繫鉄筋を通してその両端をナットで留め、桁上面鉄筋等を配置して桁間にコンクリート打設して橋体を築造する複合構造(SRC構造)の橋梁です。

単純な構造

■橋軸方向は、H鋼桁断面を鉄筋断面に換算し、RC断面として設計していますので構造が単純です。

低桁高を低コストで実現

■低桁高の橋梁を低コストで実現できますので、都市部などでの低桁高が求められる箇所での橋梁に適しています。

多様な平面形状に対応

■交差点付近の橋梁によく見られる複雑な平面形状(台形や隅切りなど)に対応可能です。

容易な施工、短い現場工期

■現場架設に特殊技術をほとんど使用しないため施工が容易で、支保工が不要なので現場施工が短期間で済みます。

狭小箇所での施工

■H鋼材を主桁として使用していますので、桁重量が軽量で桁の取扱いが容易です。狭小箇所での施工や架設現場までの道路事情が比較的悪い場合などにも適応性が高い工法です。

分割施工

■分割施工が可能のため、現道交通を切り替えながら施工することで、迂回路や仮橋を省略できます。

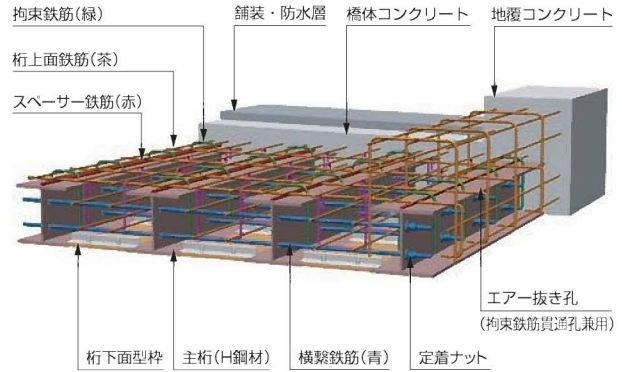
ミニмумメンテナンス

■H鋼桁には「溶融亜鉛メッキ」や「アルミ亜鉛容射」などの耐久性の高い防錆方法を採用していますので、メンテナンス費用が少なく済みます。

施工例

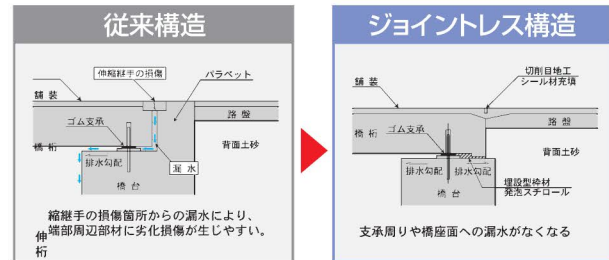


■石川県小松市／久保橋上部工架替工事



ジョイントレス構造

- 騒音や振動の防止
- 建設コストの縮減
- 走行性の改善
- 維持管理コストの縮減
- 漏水防止による耐久性の向上



適用条件

最大支間長	20m程度
斜 角	45°～90°



■石川県金沢市／太郎田橋上部工架替工事

特長

イーザーラーメン橋とは…

■橋梁上部工と橋梁下部工を剛結合し、上下部一体構造とした複合門形ラーメン橋です。上部工は、イーゼースラブ橋構造を採用しています。下部工は、直接基礎、杭基礎、矢板基礎などの基礎形式に対応可能です。

上部工にイーゼースラブ橋構造を採用

■上部工にイーゼースラブ構造を採用しているため、従来工法に比べて、低桁高、現場工期短縮、狭小箇所での施工が可能といったイーゼースラブ橋のメリットをそのまま活かしています。

耐震性の向上

■上下部一体構造であるため、単純橋構造に比べて耐震性に優れています。

下部工サイズの縮小

■上下部一体構造にすることにより、基礎杭本数の低減や下部工サイズを縮小することが可能です。

周辺環境への影響を最小限に

■低桁高、工期短縮、下部工サイズの縮小、仮設工（土留工・締切り工）を縮小・省略できるため、周辺環境への影響を最小限にすることが可能です。また分割施工ができるため、架換工事において仮橋省略可能です。

支承、伸縮装置、落橋防止装置等が不要

■支承、伸縮装置、落橋防止装置などが不要となるため建設コストや維持管理コストの低減が可能です。

適用条件

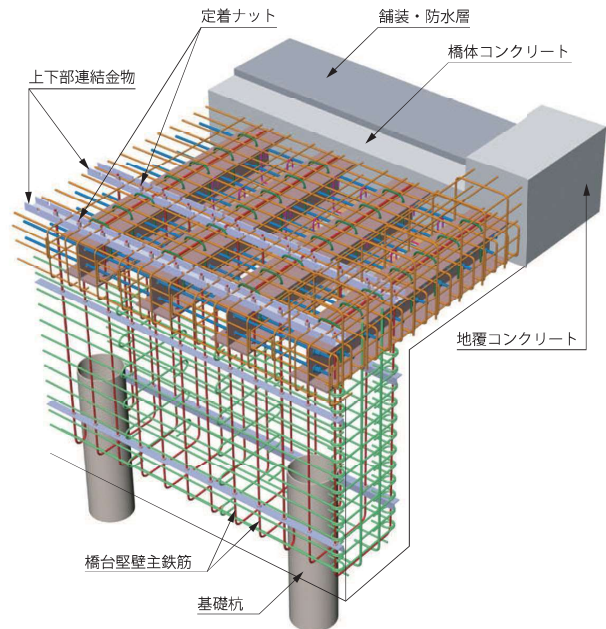
最大支間長	20m程度
斜 角	75°～90°

※矢板基礎式は掘込河道に適用限定

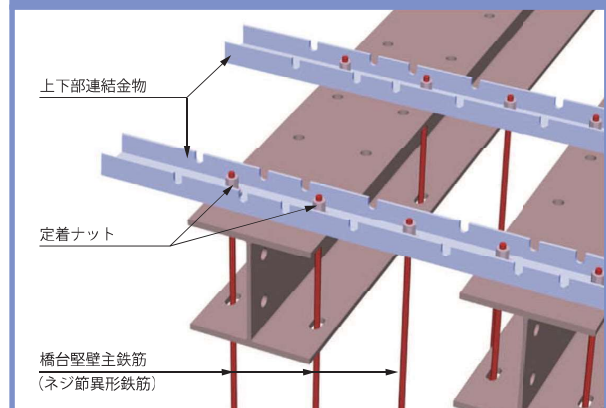
施工例



■富山県富山市／常西用水路進入橋



ナット定着による簡単・確実な剛結方法



■石川県小松市／明峰熊野横断歩道橋